山行報告

「五色山北ルンゼ初登」

山行日時　2015 年 12 月 20 日（日）

記録　久我隆泰

メンバー：久我（L）、若林
ルート　：菅沼駐車場―未踏のルンゼ―五色山―金精山―金精峠―菅沼駐車場

１．前書き

事の発端は、2013 年に日光のベテランクライマー片柳さんと毛塚さんがアイスクライミングのできる滝を奥白根山行中に発見したところから始まる。わたしもその滝でアイスクライミングできるかどうか確かめに行くチームに混ぜてもらった。

結果 20m 以上の滝があったものの、ほとんどが雪で埋まっており、アイスクライミングするなら、もっと早い時期が望ましいという話で落ち着いた。しかし、初心者がシーズン初めにアイスクライミングの練習に使うにはもってこいのエリアと分かった。

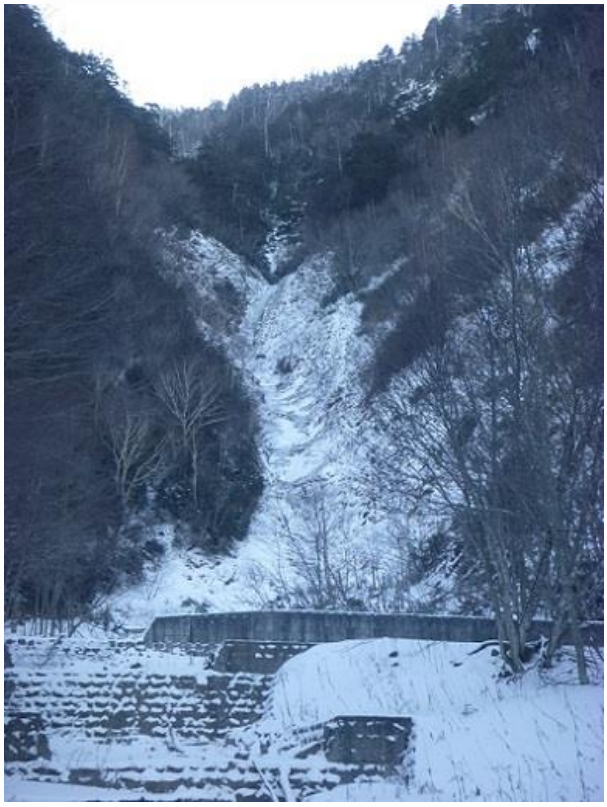
2014 年、わたしは渓嶺会メンバーと当該エリアへアイスクライミングに入った。その年は練習もそこそこで、このルンゼを山頂まで抜けたらどうなるのだろうかという探求心に素直に従い、山頂を目指してみた。結果、雪が多く時間切れ、撤退を余儀なくされた。

両脇がそり立ったルンゼを雪深いときに入るのは雪崩リスクが高いうえ、そもそもアイス（滝）が雪に埋もれていては面白みも半減する。さらにはラッセルが大変だ。本ルートを狙うなら雪が薄い 11 月末が望ましいと結論付けて、翌シーズンを待つことにした。

2015 年、まさかの暖冬も、12 月 13 日に雪上訓練で同山域に入ると、それなりに雪はあった。おまけに若干の寒波到来。雪は少ないが氷のもとは多分にある。12 月 20 日、同ルートのアイスは氷結していると判断して、会仲間の若林さんと初登を目指して入山してみることにした。

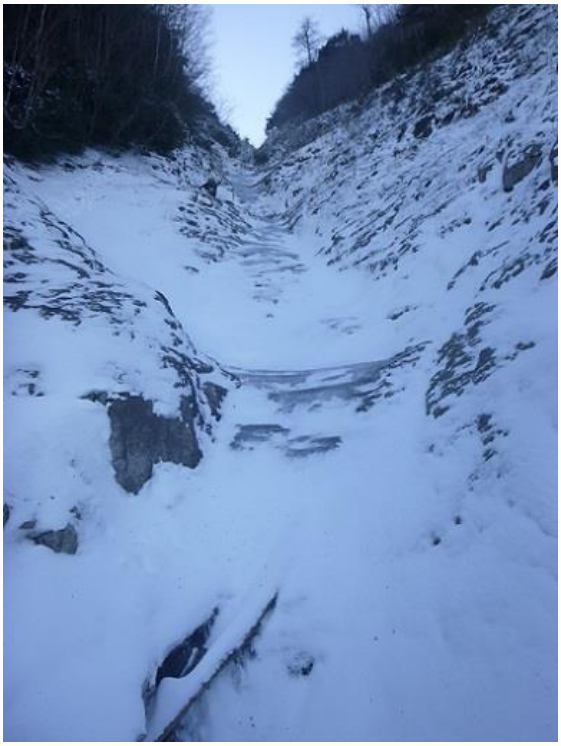
山域エリアは、奥白根山の登山口である菅沼駐車場から五色山山頂へルンゼをつめるルートになります。冒頭の日光のベテランクライマー両名も同ルートを抜けたという話は聞いたことがないようだから、ここを抜ければ初登と思われます。名前のないルートなので、便宜上同ルートを「本ルート」と呼ぶことにします。

２．山行記録（2015 年 12 月 20 日）



菅沼駐車場から山行開始。登山口からの突き当り大看板を廃小屋のある左へ進み、北へ北へとつめると、目的の本ルートが見えてきます。昨年、一昨年なら、雪がぎっしり詰まっていたルンゼ内も、今年はしっかりとアイスで繋がっ

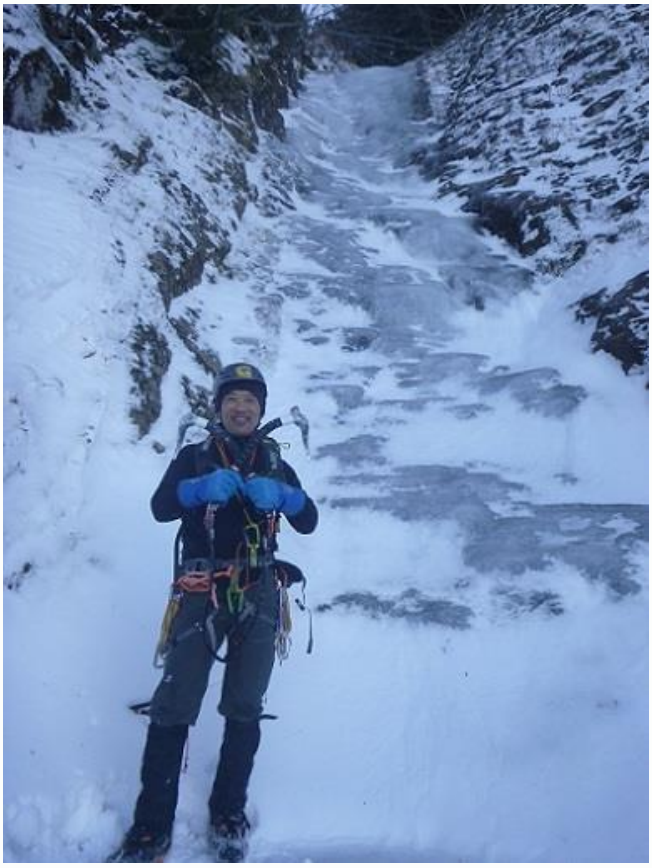
ていました。このルートが未踏だったのは、上画像のような景色が奥白根山登山道から外れて 20 分程度奥に入らないと見えないからです。



ルンゼ下部からかなりアイスで繋がっています。

わりと立っている F1（2m）、これまたわりと立っている F2（3m）を抜け、基本アイスで繋がったルンゼを登っていきます。ずっと繋がっているので、一応

滑ったら危ないです（初心者はザイル必要）。我々はプレ黄蓮谷右俣と位置づけ、ノーザイルで登っていきます。



そして初心者の練習に向いている F3（25m）。今年は雪が少ないので、いつもより 5m 増しで登場です。我々はここもノーザイルでクリアしました。

F3 をクリアすると、すぐ上に F4（5m）があり、

そこを抜けてルンゼ伝いに左へ折れて進み

突き当りを右に直角に曲がるとF5（3m）。ここは昨年大雪でアイスどころではないラッセル地獄だった場所です。

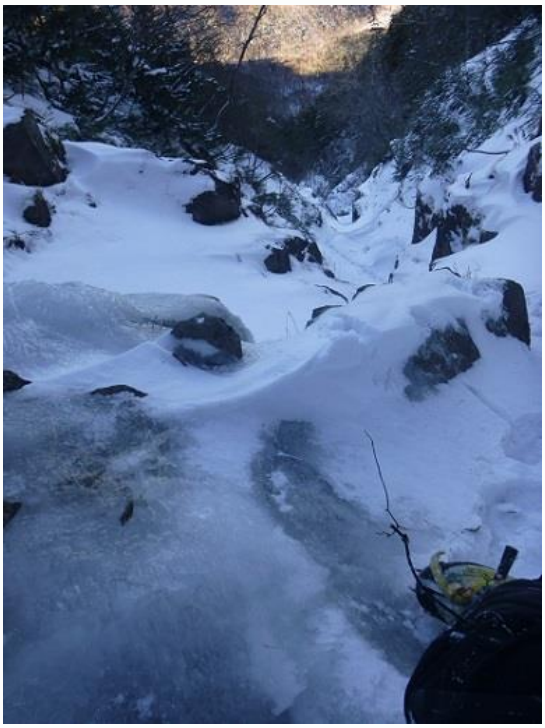
さらに突き進んでF6（3m）

そして本ルート一の大物Ｆ７（45m）ナメ滝が登場です。落ちれば怖いところですが、わたしたちはノーザイルで行きました。確保するなら50mいっぱい必要です。

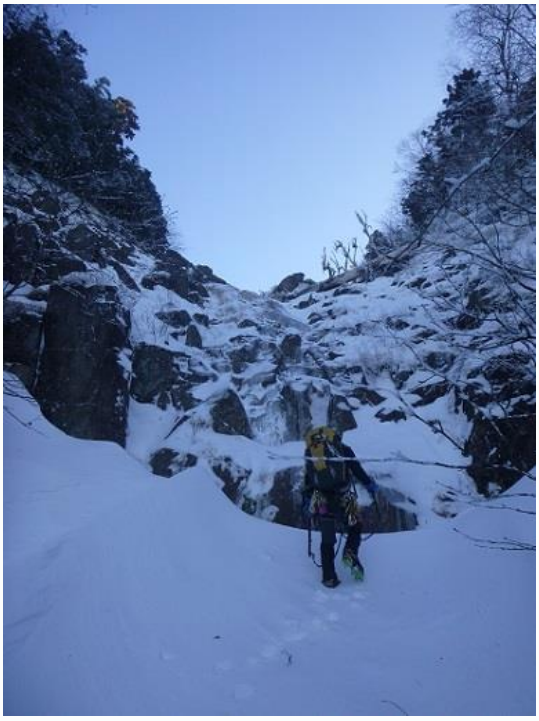
そして本ルートの核心 F8（15m）です。この F8 は、昨年プロテクションが取れず、苦労してアイスで抜けた場所です（氷が薄くスクリューが入らない）。今年はアイスが下まで繋がっておらず、足がないので登ることがわたしの実力では無理でした（足ぶらになってしまう）。

そこで、周囲をオブザベして、左側の岩稜のまっすぐに伸びたミゾに光明を見出しました。ザイルを出し、3m 程度登るとピナクルで支点が取れますが、その後は信用できる立木まではかなりの距離があります。しかし、わたしは装備にカムを 3 つ加えていて、その中のカム 2 種類を見事にルート上で使うことができました。自分の入るエリアではどんな大きさのカムが使えるかと考えて持ってきて、現場でそれが見事にはまると素直に嬉しいです。

核心を越えた先は岩岩した F9（5m）



因みに、ルンゼをつめているので、滝のないところでも、上画像のような斜度のあるところをつめています。



そして最後の岩岩したF10（12m）

F10を抜けると山頂はもう間近。写真ではゆるく見えますが、40度弱程度ある斜度の岩稜を山頂に向けてつめ、

山頂に出る前に大岩の影で一休み。菅沼方面の眺望が素晴らしい。

そして五色山山頂に立ったのでした。未踏ルート初登やりました！

山頂からの眺望を楽しみ（上が奥白根山と五色沼、下が日光連山）、下山開始。下山は金精山経由の周回ルートとしました。

金精山までは冬季でもなんの苦もなく到達しましたが、

金精山から金精峠方面への下山は、かなり急な斜面の下山を余儀なくされました。積雪期の歩行技術を身に付けていないと難しい箇所に感じました。（上画像は下降後に斜面を振り返って）

兎にも角にも無事に下山できました。未踏ルートの初登やったぞー！

３．山行時間

● 7:45 菅沼駐車場－9:20 Ｆ３（25mアイス）－10:45 Ｆ７（45mアイス）－11:10 Ｆ８（本ルートの核心部）－13:55 五色山山頂－14:45 金精山山頂－16:20 菅沼駐車場
● 菅沼駐車場から五色山山頂まで（6 時間 10 分）
● 全行程（8 時間 35 分）

４．まとめ

本ルートを抜けるには取り付くタイミングがもっとも重要なファクターとなる。アイスが凍結しつつも、雪がそのアイスを隠す前という短い１～２週間が勝負となる。昨年は、今年の F8 までのルート上に 4 つのアイスしか認識できなかったし、また長さも雪に埋もれて短かった。積雪期縦走とは違い、降雪量は意識することなく、冬の早い段階で取り付いたほうが良いと思われる。年によるだろうが、11 月末から 12 月初旬程度が理想と考えます。

アイスクライミングについては、玄人ががっつりと楽しめるようなエリアはありません。ただし、シーズン初めに県内でアイスができるのは貴重ですので、シーズン初めの慣らしの場としては良いかもしれません。わたしたちは今回 F8 以外ではザイルを出しませんでしたが、初級者を伴う場合は F3（25m）F7（45m）ではザイルを出すべきでしょう。

また初級者が練習する分には F7（45m）はナメているので、手前の F3（25m）で十分と思われます。

玄人向きの箇所と言えば、核心の F8 ですが、ここは昨年アイスクライミングで抜けましたが、その際は氷が薄くスクリューを打つことはできませんでした（待っても厚くならない箇所と思われます）。結果、プロテクションを取らずに 15m登ったわけなので、本来アイスクライミングで抜けるのは、実力者のみと考えたほうがいいでしょう。

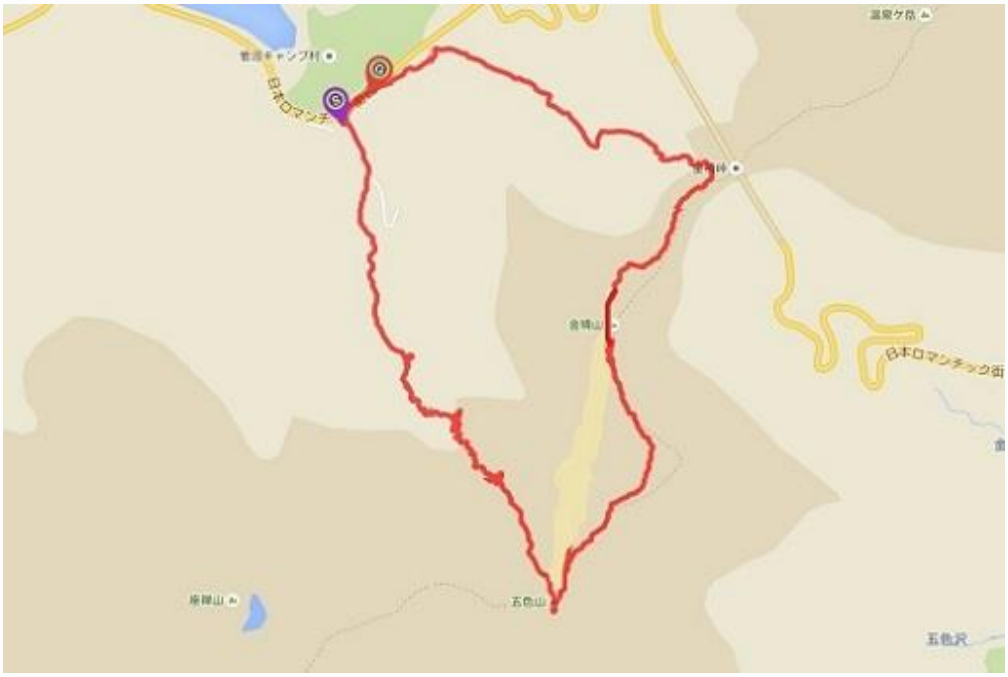
逆に、本ルートを安全に抜けるなら、今年わたしが選択したアイスの左側にある岩稜を抜けるのが良いと思います。ピナクル→カム→カム→信頼できない立ち木→信頼できる立ち木→信頼できる立ち木と取れる支点も豊富です。但しカム装備は必須。用いたカムのサイズは BD キャメロット１と BD キャメロット０．５でした。

本ルートで遊ぶだけならアイスクライミングの技術で足ります。しかし、本ルートを山頂まで抜けるというなら、ドライツーリングの技術やナチュラルプロテクションの技術が不可欠となります。様々なタイミングで岩にアックスをひっかけて登る必要がでてきます。本ルートはアイスのルートではなく、あくまでミックスルートであるとわたしは思います。

さらに、下山に使った金精山から金精峠までのルートが、積雪期の急斜面の下降の練習の最適な場所であるとわたしは感じました。涸沢岳西尾根のもっとも斜度の厳しいところと同じレベルの斜度があります。金精道路が冬期閉鎖になる前に、是非皆さん、このルートを活用して練習して欲しいと思います。

そんなこんなで、本ルートは冬季のシーズン初めの練習に打ってつけのルートであると考えます。アイスクライミングができ、某東南稜より斜度のある岩稜のアイゼン歩行やドライツーリングの練習ができ、さらには金精山への周回ルートを選択すれば、積雪期の急斜面の下降練習もできる。冬のシーズン初めに練習すべきことが多岐に渡って内包されているオススメしがいのあるルートです。

５．ＧＰＳデータ他



誤差はありますが完登した際のＧＰＳログ

ＧＰＳを頼りに書き起こした概念図

６．命名

未踏のルートなのでルート名を若林さんと考えました。多くの人に呼んでもらえるよう素直に「五色山北ルンゼ」ルートと名付けます。是非、多くの山岳会の初冬の練習に使ってもらえれば幸いです。よろしくお願いします。

以上